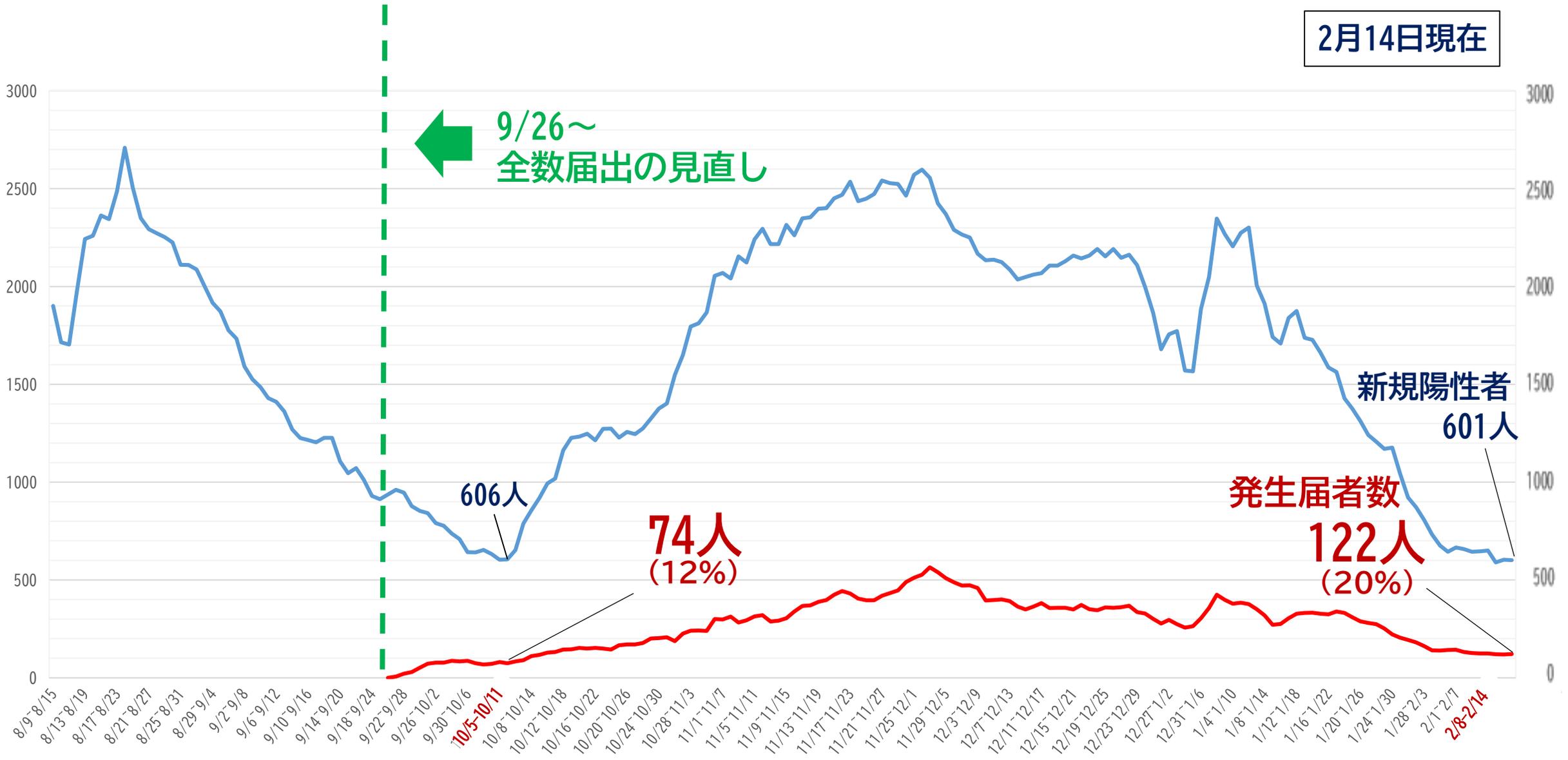


# 新型コロナウイルス 1週間ごとの新規陽性者数/発生届者数の推移

2月14日現在



一般会計 1,021億円 (前年度比:1.2%減)

重点戦略	事業数	予算額
① 人口定常化戦略	38 (+10)	16億 4,171万円 (+8億3,208万円)
② 新交通戦略	17 (+8)	21億 2,857万円 (+5億3,737万円)
③ ポストコロナ戦略	25 (+5)	7億 3,455万円 (+1億4,277万円)
④ ゼロカーボン戦略	21 (+9)	6億 1,389万円 (+1億8,006万円)
⑤ DX戦略	19 (+4)	6億 4,051万円 (-4億9,148万円)
合計	120 (+36)	57億 5,923万円 (+12億 80万円)

( ) は前年比

重点戦略	事業数	予算額
① 人口定常化戦略	38	16億 4,171万円
<p>「人口の定常化」実現に向け、「女性や若者に選ばれ 結婚・出産の希望を叶え 安心して子育てできるまち」を目指し、取組みを強化します。</p>		
◎ こどもプラザ整備事業		1億9,717万円
<p>イオンタウン松本村井内に、こどもプラザと福祉ひろばの機能を有した複合施設を整備</p>		
◎ 産後ママ家事支援サービス事業		25万円
<p>出産後の身体的負担の軽減を図るため、母体の回復期にサポーターを派遣し、家事を支援</p>		
○ 3歳未満児家庭サポートクーポン事業の拡充		798万円
<p>対象事業を追加（休日保育、病児・病後児保育、子育て支援ショートステイ、育児ママヘルプサービス等）</p>		
○ 多子世帯への支援拡大	ファミリーサポートセンター事業の利用クーポン 10時間分を配付	(歳入の減による影響額を含む) 1,428万円
<p>就学前の子どもがいる多子世帯に子育てクーポンを配付。単独で通園する第2子の保育料を20%軽減</p>		
◎ こども安心訪問支援事業		268万円
<p>ヤングケアラーの負担軽減等のため、育児を支援する訪問支援員を派遣</p>		

# 「三ガク都のシンカ」を加速

～子どもの未来に希望を架けるために～

重点戦略	事業数	予算額
<b>① 人口定常化戦略</b>	<b>38</b>	<b>16億 4,171万円</b>
<p>「人口の定常化」実現に向け、「女性や若者に選ばれ 結婚・出産の希望を叶え 安心して子育てできるまち」を目指し、取組みを強化します。</p>		
◎ <b>インクルーシブ教育推進事業</b>		<b>117万円</b>
<p>発達障がい児や医療ケア児等の支援を一体的に行うため、「インクルーシブセンター」の設立を準備</p>		
◎ <b>学校給食費負担軽減事業</b>		<b>3,185万円</b>
<p>子育て世帯の負担軽減のため、物価上昇に伴う給食費増額分を補填</p>		
◎ <b>リーディングスクールMatsumotoサポート事業</b>		<b>1,201万円</b>
<p>特色ある学校づくりを支援するため、対象校8校選定し、加配教員配置や研究費助成等を実施</p>		
○ <b>UIターン就業移住支援事業</b>	<p>子ども1人につき 30万円 → 100万円に拡充</p>	<b>1億1,280万円</b>
<p>東京圏等の在住者が、移住して中小企業に就職したりテレワークを行う場合に移住支援金を交付</p>		
○ <b>結婚新生活支援事業</b>	<p>世帯所得制限を 400万円未満 → 500万円未満に緩和</p>	<b>4,410万円</b>
<p>結婚に伴い新たな生活を始める新婚世帯に対し、経済的不安の軽減を目的に補助金を交付</p>		

重点戦略	事業数	予算額
② 新交通戦略	17	21億 2,857万円
「ぐるっとまつもとバス」の運行を始め、時代に即した交通環境の充実を図ります。		
○ 路線バス公設民営事業(負担金)		2億7,745万円
市が路線、ダイヤ、運賃体系等を見直し、民間事業者がエリア一括で運営運行する公設民営バスをスタート		
◎ 交通決済キャッシュレス化事業		6,926万円
バスの利便性を図るため、キャッシュレス決済を全路線へ拡大するとともに決済方式を拡充		
◎ AIデマンドバス事業		5,619万円
交通空白地の解消や地域内移動の確保に向け、AIを活用したオンデマンド交通の実証実験を実施		
◎ 自転車ヘルメット等着用促進事業		600万円
高校生の自転車乗車時におけるヘルメット着用を促進するため、市内全ての高校を対象に補助金を交付		
○ 美ヶ原スカイライン(林道美ヶ原線)整備事業		9,981万円
老朽化や路面の破損が著しい美ヶ原スカイラインについて、美ヶ原再生計画に基づき舗装補修を実施		

重点戦略	事業数	予算額
③ ポストコロナ戦略	25	7億 3,455万円
<p>コロナとの共存により、経済・社会の再生を加速するとともに、 新たな魅力や賑わいを創出し、未来を見据えたまちづくりを推進します。</p>		
◇ 松本城三の丸エリア整備事業		2,968万円
<p>エリアビジョンの具現化に向け、公民連携でエリア内の6つの界隈における社会実験等を支援</p>		
◇ グリーンインフラ推進事業		1,277万円
<p>先導的取組みとして、松本駅前広場の緑陰スペース創出やまちなかの憩いスポット設置などを実施</p>		
◎ 新工業団地整備事業		694万円
<p>市内外からの工業用地需要に対応するため、新工業団地の候補地を選定し、整備手法や建設計画を決定</p>		
◎ 上高地保存活用推進事業		300万円
<p>国指定文化財の上高地について、松本市が文化庁から管理団体の指定を受け、保存と活用を推進</p>		
◎ アルプス山岳郷組織体制強化整備事業		1,099万円
<p>総務省の地域力創造アドバイザー制度と地域おこし協力隊制度を活用し、人材面での組織体制の強化</p>		

重点戦略	事業数	予算額
④ ゼロカーボン戦略	21	6億 1,389万円
2050ゼロカーボンシティの実現に向け、実効性の高い取組みを着実に進めます。		
◎ 脱炭素先行地域推進事業		1億1,462万円
脱炭素先行地域の乗鞍高原で、再エネ・省エネ設備の導入補助と設置を加速化させる支援等を実施		
◎ 太陽光発電設備導入の推進		1,221万円
事業者の導入補助、住宅用設備の補助対象拡充、市有施設の導入に向けた調査を実施		
◎ 市有施設LED化事業		3,470万円
2030年度までに温室効果ガス55%削減に向け、市有施設のLED化を進めるための調査を実施		
◎ ごみ袋材質変更事業		506万円
二酸化炭素排出量削減を図るため、「町会一斉清掃用ごみ袋」を環境に配慮した材質に変更		
○ 製品プラスチック再資源化事業		1,442万円
可燃ごみとしている製品プラスチックを、容器包装プラスチックと一括回収して再資源化		

重点戦略	事業数	予算額
⑤ DX戦略	19	6億4,051万円
デジタルを最大限に活用し、一人ひとりが豊かさや幸せを実感できるデジタルシティ松本のシンカに挑みます。		
◎ 地元企業デジタル化推進事業		1,806万円
セミナーや個別相談を通して、地元企業のデジタル活用・実装を伴走支援		
◎ デジタルシティ松本推進事業		587万円
産官学で構成する協議会を設立し、デジタルサービスの実装に向けた事業化研究を実施		
◎ 市役所オンライン相談窓口の設置事業		2,282万円
市民サービスの向上のため、地域拠点等と庁舎を繋ぐWeb会議システムを利用した相談窓口を設置		
◎ まちなか観光DX推進事業		1,463万円
まちなかの周遊性及び観光の充実を図るため、スマホアプリを活用したデジタルコンテンツを造成		
◎ 電力スマートメーターのフレイル検知事業		680万円
一人暮らし高齢者を対象に、電力使用状況をAIが分析し、フレイル該当者を把握		

令和5年度  
当初予算案

# 「三ガク都のシンカ」を加速

～子どもの未来に希望を架けるために～

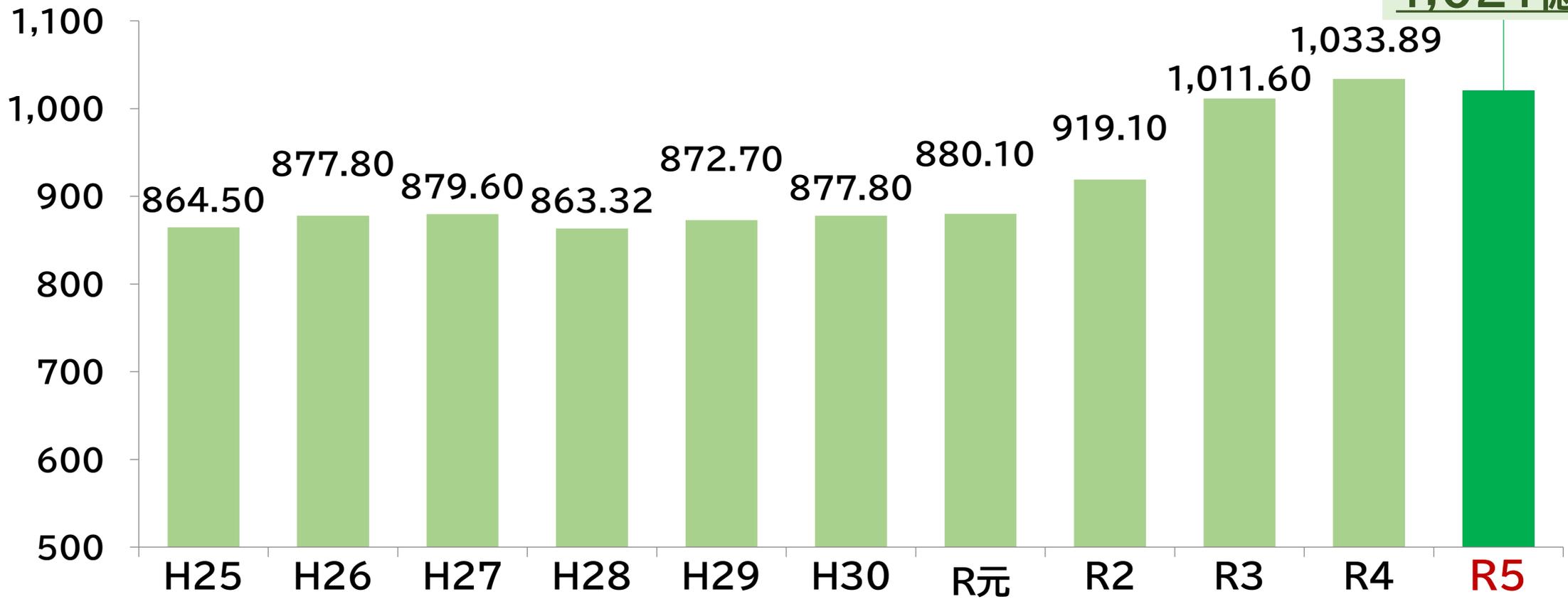
市長記者会見資料

5. 2. 14

財政課

## 一般会計 1,021億円（前年度比:1.2%減）

億円



-12億8,924万円

1,021億円

令和5年度  
当初予算案

# 「三ガク都のシンカ」を加速

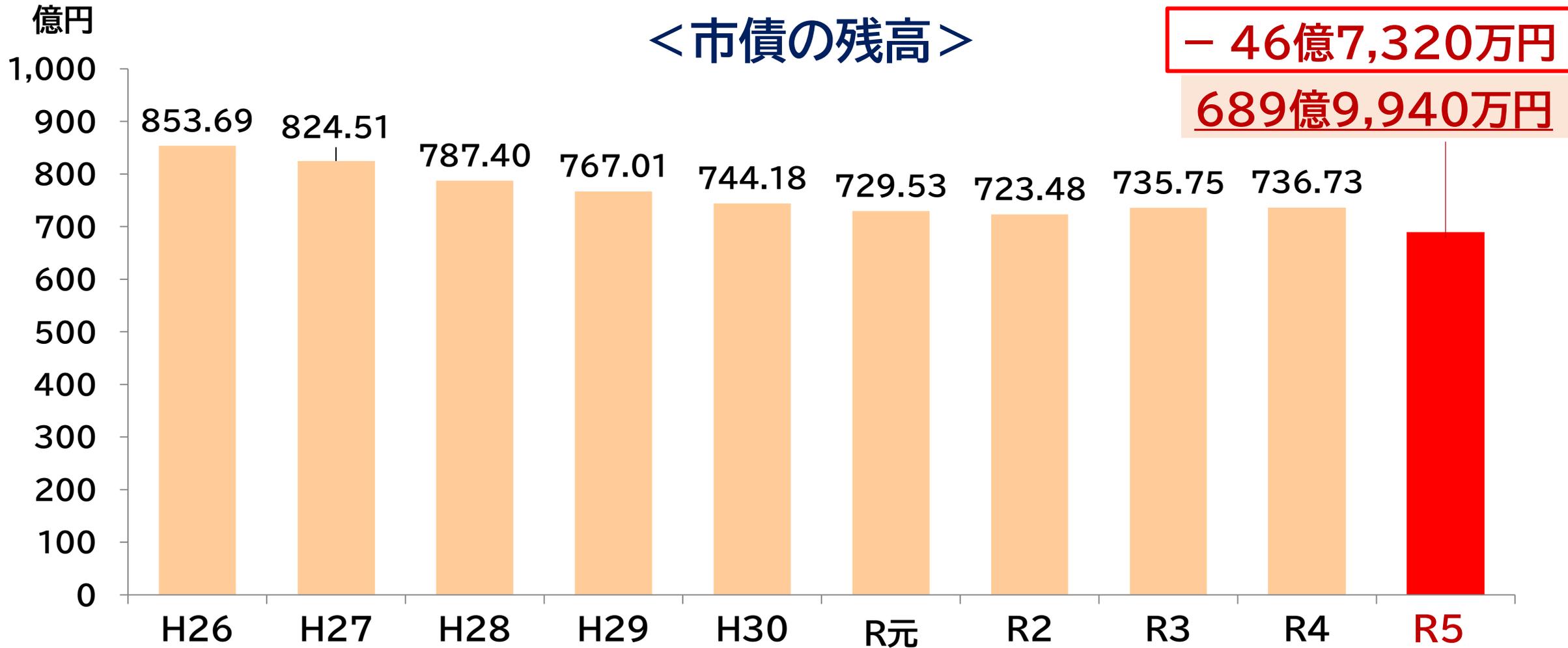
～子どもの未来に希望を架けるために～

市長記者会見資料

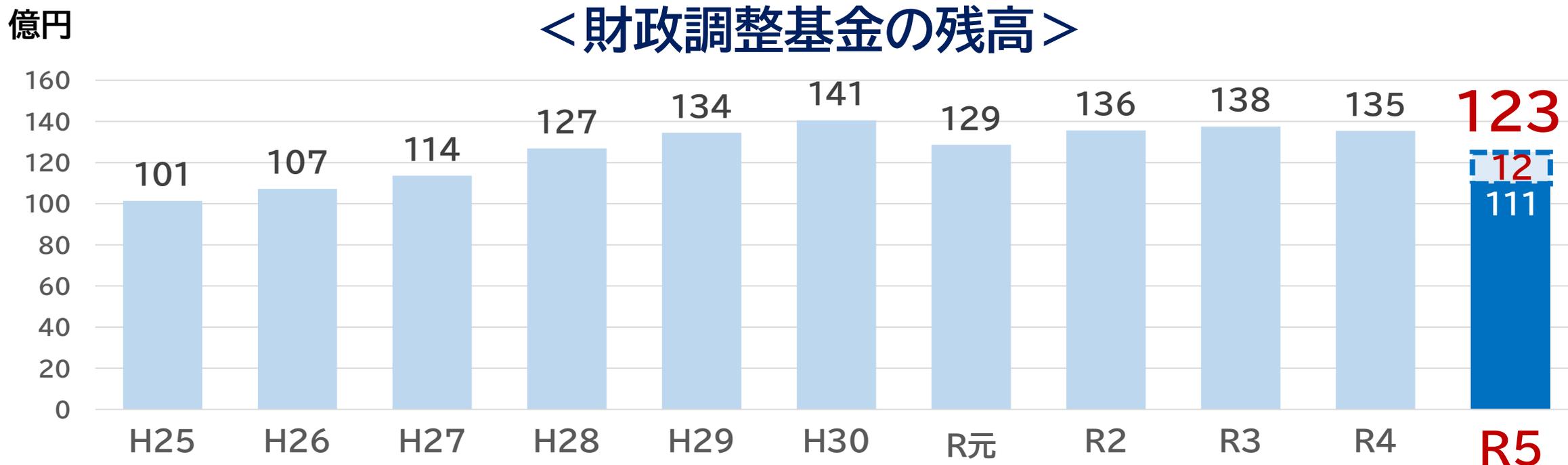
5. 2. 14

財政課

## 一般会計 1,021億円（前年度比:1.2%減）



## 一般会計 1,021億円（前年度比:1.2%減）



◆積立のルール: 前年度繰越金の1/2相当額を積み立てる

◆残高の目安 : 標準財政規模の20%として運用していく

➡ R4繰越金が例年並みで  
R5積立額は12億円に

➡ R5は約118億円